

第22回 部落解放高齢者連絡協議会総会

6月21日、22日、部落解放第23回高齢者交流集会及び部落解放和歌山県高齢者連絡協議会第22回総会を湯浅町で開催し、16支部71人の参加があった。

1日目は、湯浅城に集合し、なぎの里ゲートボール場で混合チームを合わせた4チームが交流という形で試合をおこなった。初心者も含め、わいわいとしなが



力強いあいさつをする竹井輝夫高連協会長



笑って元気に

らも白熱した試合となった。また、ゲートボールをしない参加者は、湯浅町総合センターに移動し、介護予防のために足首や股関節を柔らかくする柔軟体操

「転ばぬ先の杖体操」や、身体の血液のめぐりをよくする「マンツーマン指圧」、「頭の体操」など、県レクリエーション協会の吉田ひとみさんの指導のもとおこ

なつた。会場内はわきあいあいと笑いに包まれ、元気に体を動かした。

夜の懇親会には、石本一也湯浅支部長からお酒の差し入れもあり、カラオケタイムでは、参加者が次から次へと自慢ののどを披露した。なかには得意なダンスで会場に華を添えてくれる参加者もあり終始和やかなムードの懇親会であった。

2日目は、高齢者連絡協議会第22回総会を9時半からひらき、解放歌合唱、松根執行委員の水平社宣言朗読のあと、竹井輝夫高連協会長から「大変な雨の中たくさん参加していただいた。ゲートボールも人数が減少したが、伝統があるのだから若くも若い人にどんどん来てもらってつづけたい。この会の中で『若い人』が増えてきた反面、最近見



歯も健康にして長生きを



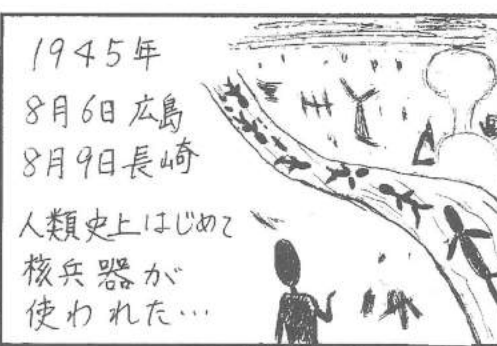
ねらいをさだめて

ない顔もあり、健康に気をつけて欲しい。高齢化社会になってくると、後期高齢者や年金問題など、生きにくい社会だが、私たちの課題や思いをしっかりと訴えていかなければならない。元気で、運動の前進に向け、年寄りの役割を果たしていこう」と、力強い主催者あいさつがあった。つづいて

つづいて学習会では、和歌山県歯科衛生士会から3人の講師を招き「口腔機能向上について」実演を交えながら講演を受けた。内容は、噛む力が老化を遅らせるというところで、歯磨きのコツを参加者各自が歯ブラシと手鏡を持ちながら丁寧に教えてもらい、誤えんを防ぐため、「パ・タ・カラ」の発声練習や歌、歯あわせ体操、ストローを使うたりレジャーゲームなど、楽しい約1時間の学習会を終え、2日間の日程をケガもなく無事に終了した。

来賓あいさつを池田副委員長から受け、橋本正春副会長より経過報告、吉田雪子副会長より運動方針の提案、金本清春副会長より総会宣言が提案され全ての議

事が採択された。最後に清水節子副会長から「とにかく元気で長生き！みんな元気で来年も会いましょう」という閉会あいさつで総会を終えた。



被爆から67年、夏...

67年前

1945年

8月6日 広島

8月9日 長崎

人類史上はじめて核兵器が使われた...

戦争・原爆の恐ろしさを忘れてはいけません。一瞬にして多くの命を奪った原爆

被爆を経験している国だからこそ、核のことを考えないとね。

- 【高連者連絡協議会新役員】
- 会長 竹井輝夫(湯浅)
 - 副会長 清水節子(杭ノ瀬)
 - 吉田雪子(善明寺)
 - 金本清春(伏原)
 - 橋本正春(御坊)
 - 中井富男(田辺)

もともと、国際文化観光都市というのは、吉田と高山と西(ホテル洛陽の支配人で、いま、監査請求で役所をひっくりかえしている事件)の関係ありといわれている。とで、こさえあげたものだから、そういわれても無理はない。

吉田は外国の一番すぐれた大番頭であるから、そういうことを考えるのは当然だし、高山市政はそれに頭を下げたわけである。

文都法で計画していた土木事業は、みなそれぞれ、こういう性格をもっている。とみられる。公共事業として今着手している久世橋の架換工事は、伊丹飛行場に通ずる要(五)街道の要衝を占める久世橋を最優秀の橋にしようとする工事である。要(国)街道を軍用道路にいつでも切り替えられるように、肝心の橋を強化しようとする狙いである。

この工事は三年に分かれて、本年は三千万円という莫大は金を使っている。まさに吉田が命令したということである。そこまでゆかないとしても、高野川東岸に沿いに北に向けて走る道路は、競輪場に通ずるものである。競馬、競輪、果ては小型自動車競争、ボート

レース、競犬、これらはすべて日本人の生活を破壊させるために、日本の支配者が積局(極)的にとりあげている亡国な政策であることは自明である。高山市政は、「競輪場はなるべく廃止したい」と言いながらその裏、競輪道路をこさえて

東海道沿線の例からいくと、決して考えられないことではない。田中一帯は、「太陽のない街」にされてしまおうであろう。高山市政がボスとながっている具休例としては、五条疎開道路、加茂川以東の仮設商店街というのをみてもわかる。

連載(10) 「吾々は市政といかに闘うか」
—オール・ロマンス差別糾弾要項—